


# 地域発元気づくり支援金【南信州地域】 令和元年度優良事例


## <知事賞 1団体>

### ◆農業担い手移住就農促進事業【南信州・担い手就農プロデュース（飯田市）】

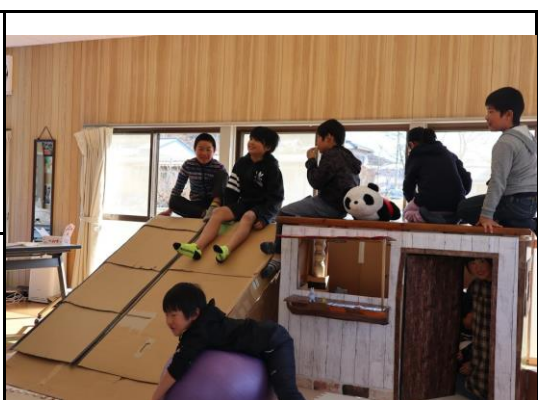
<p>事業内容</p>	<p>Iターン就農促進のため、東京・名古屋及び南信州で就農・移住相談会を開催した。 また、現地訪問見学会を夏・秋・冬に3回開催し、相談会の参加者を中心として南信州地域の農業の実情を確認してもらい、実移住・就農を後押しするとともに、就農、就業、農業研修と移住の要素をマッチさせた冊子を作成し、相談会等で活用した。 &lt;事業費 957,600円 支援金額 766,000円&gt;</p>	
<p>選定のポイント</p>	<p>市町村、広域連合、県と連携して就農・移住相談会を開催し、18組22名が参加した。また、南信州の農業の実情を知ってもらう現地訪問見学会には、49名が参加した。 その結果、前年度実績を上回る12名が南信州へ移住し、うち9名が農業研修生となった。 令和2年度は管内14市町村すべてが参画しており、南信州一体となった取組が期待される。</p>	<p>【新宿での南信州フェア】</p>

## <地域振興局長賞 4団体>


### ◆東京2020オリンピック・パラリンピックへの木材提供を契機に天龍村の木材をPRしよう！【天龍村】

<p>事業内容</p>	<p>村の昇龍まつりにおいて、バルセロナ五輪柔道金メダリスト古賀稔彦氏による講演会を開催するとともに、ハンガープロジェクトで製作したハンガーをスポーツ選手に贈呈し、村と木材のPRを行った。 また、村民によるハンガー製作会を開催し、2月下旬に目標の2020本の製作を達成した。 &lt;事業費 749,560円 支援金額 562,000円&gt;</p>	
<p>選定のポイント</p>	<p>講演会は約200名が聴講し、講演後に天龍中の生徒が手作りのハンガーを古賀氏に寄贈した。世代を問わず多くの村民がハンガーの製作に携わったことや、全日本学校関係緑化コンクール農林水産大臣賞、ボランティア・スピリット・アワード等、多数の受賞で大勢の人に認知されたことにより、村の木材の価値が再認識され、今後より一層木材の活用が促進されることを期待できる。</p>	<p>【ハンガープロジェクト2020本達成】</p>


### ◆平谷村型「信州子どもカフェ」推進事業【平谷村教育委員会】

<p>事業内容</p>	<p>子供たちが孤立することなく安心して居られる場所づくりや学習支援、子育て世代家庭の支援を目的として、子どもカフェを設置した。 設置した子どもカフェには、①学習支援、②悩み相談、③イベントと遊びの広場、④長期休暇の一時預かりの機能を持たせている。 &lt;事業費 2,637,524円 支援金額 2,017,000円&gt;</p>	
<p>選定のポイント</p>	<p>令和元年7月末に平谷子どもカフェ「ひらひら平谷」をオープンし、学習支援や悩み相談等を実施した。令和2年1月までに累計1,231人が来所し、不登校児の学校の出席率が改善傾向にある等の好影響が見られた。 本事業により、子供たちや保護者にとって心の拠り所となる居場所ができた。今後は、様々な世代の地域住民が交流する場としても機能し、みんなの居場所となっていくことが期待される。</p>	<p>【手作り滑り台で遊ぶ日常】</p>

◆保育に関わる人のための安全対策講座【飯田女子短期大学（飯田市）】


事業内容	平成30年に発生した園外保育中の園児の死亡事故を受け、南信州地域の保育士を対象とし、保育の安全に関する意識・スキル向上を目的とした安全対策講座を実施した。 ＜事業費 555,417円 支援金額 390,000円＞	 <p>【危険予知編でのグループワーク】</p>
選定のポイント	飯田女子短期大学の知見を活かし、保育者や保育サポーター、保護者を対象にした安全対策講座（危険予知編、応急手当編）を開催し、南信州全域から多くの保育士等の参加があった。 令和2年度は、危険予知編、応急手当編に加え、幼稚園等の園長・主任を対象にした、組織での安全管理体制について学ぶ「組織マネジメント編」を新たに設定しており、さらなる広がりが期待される。	

◆都市農村交流事業「さはら塾」【豊丘村】

事業内容	田舎暮らし・田舎体験に興味を持つ都市部の住民に、佐原地区において毎年行っている行事（夏の納涼祭、冬のどんど焼き）へ参加してもらい、地域住民との交流を行った。 ＜事業費 498,043円 支援金額 373,000円＞	 <p>【どんど焼きへの参加】</p>
選定のポイント	予定人数を上回る参加があり、都市部の参加者に好評であった。また、地元住民の理解や期待度が高まり、地区の会議等で次年度のアイデアが話し合われるようになった。 令和2年度はコロナの影響で事業が中止になったものの、今後も都市農村交流を地域住民が主体となって実施していく予定であり、つながり人口づくりや移住定住の促進に寄与することが期待される。	

<地域振興局特別賞 1団体>

◆子どもの健全育成を目的とした「命の授業」事業【ジングルライダー（飯田市）】

事業内容	安全安心な地域づくりや命の大切さを子どもたちに教えるため、交通安全に関する講座と、鹿皮を使った交通安全お守りのワークショップなど、参加型の交通安全教室を実施した。 ＜事業費 1,252,418円 支援金額 925,000円＞	 <p>【伊賀良文化祭にて】</p>
選定のポイント	有害鳥獣の要素も取り入れた参加型の交通安全教室というユニークなアイデアで多くの子どもたちに命の大切さを伝えることができた。 令和2年度も、大学生と連携してお守りの教材キットや動画を作成するなどの取組を予定しており、活動の広がりが期待できる。	